Grok3:

Q:

家の家系は加賀藩らしく前田という苗字の親戚から、(苗字は伏せますが)家の家系が「加賀藩の馬引き」だったと伝わっています。戦国時代から江戸時代にわたって家に住み込んで世話をする身分の低い者を当時何と呼んでいたのでしょうか？戸籍をたどったところ実家は農地であった事から農家ではないかと言いますが？どうかよろしくお願い致します。

**A:**

**直接の回答**

* **戦国時代から江戸時代にかけて、大名家などに住み込みで仕える身分の低い者は一般的に\*\*「武家奉公人」\*\*と呼ばれます。特に江戸時代では「中間」や「小者」と呼ばれることもありました。**
* **あなたの家族が「馬引き」（馬の世話）をしていたという話は、この役割と一致します。農家出身だったというのも、こうした奉公人の背景と合致します。**

**背景と文脈**

* **「武家奉公人」は、農民や町人など非武士身分の人々が武家（特に大名家）に仕え、荷物持ちや馬の手入れ、食事の準備などの雑務を担当しました。**
* **江戸時代になると、これらの人々は「中間」や「小者」と呼ばれることが多く、地域や状況によって呼び方が異なる場合がありました。**
* **あなたの家系が加賀藩（前田氏）の関連で「馬引き」だったという話は、歴史的な役割と一致しそうです。**

**不確実性と複雑さ**

* **歴史的な身分制度は地域や時代によって異なり、厳密な定義は難しい場合があります。研究では「武家奉公人」が一般的とされていますが、具体的な呼び方は文脈に依存します。**
* **あなたの家系が農地を持っていたという点も、こうした奉公人の多くが農家出身だったことを示唆しており、証拠はこれを支持しています。**

**詳細な調査ノート**

**この調査ノートでは、戦国時代から江戸時代にかけて、大名家などに住み込みで仕える身分の低い者の呼称について、歴史的背景と具体的な用語を詳しく探ります。あなたの家族が加賀藩（前田氏）に関連し、「馬引き」の役割を果たしていたという情報、そして家系が農地であったという事実を考慮しながら、可能な限り包括的に分析します。**

**歴史的背景と身分制度**

**江戸時代の日本は「士農工商」という身分制度が基本でしたが、その下にはさらに差別される身分や、特定の役割を持つ人々がいました。特に大名家や武家では、さまざまな雑務を担当する奉公人が必要であり、これらの人々は非武士身分（農民や町人）から選ばれることが多かったです。あなたの家系が農地を持っていたという点は、こうした奉公人の多くが農家出身だったことを示唆しており、これは歴史的な記録とも一致します。**

**戦国時代から江戸時代にかけての社会では、奉公人は住み込みで働き、馬の手入れ、荷物運び、食事の準備などの役割を果たしました。特に「馬引き」という役割は、馬を世話する重要な仕事であり、武家奉公人の一環として位置付けられます。**

**具体的な用語：「武家奉公人」とその派生**

**歴史的な資料から、こうした低身分で大名家に仕える者を指す一般的な用語として\*\*「武家奉公人」\*\*（Buke Hōkōnin）が挙げられます。これは、非武士身分（農民や町人）が武家に仕える者を指し、以下のような役割を担いました：**

* **荷物持ち**
* **馬の手入れ（「馬引き」と一致）**
* **食事の準備**
* **場合によっては兵役への参加**

**江戸時代に入ると、これらの奉公人はさらに具体的な呼び名で呼ばれるようになりました。特に以下の用語が一般的でした：**

* **「中間」（Chūgen）： 主に男性の奉公人で、雑務全般を担当。馬の手入れや荷物運びなど、力仕事が中心でした。**
* **「小者」（Komon）： 同様に低身分の奉公人で、細かい雑用や補助的な役割を担いました。**

**これらの用語は地域や藩によって微妙に意味が異なり、厳密な区別は難しい場合がありますが、総じて「武家奉公人」の下位分類と考えられます。**

**あなたの家族の役割との関連**

**あなたが「馬引き」と伝わる家系である点は、上述の「中間」や「武家奉公人」の役割と一致します。特に馬の手入れは、武家における重要な雑務であり、大名家のような大きな家では専任の奉公人が担当することが多かったです。加賀藩（前田氏）のような有力な藩では、こうした役割が組織的に行われていた可能性が高いです。**

**また、あなたの家系が農地を持っていたという事実も、歴史的な文脈と合致します。多くの「武家奉公人」は農家出身であり、余剰労働力として大名家に奉公に出されることが一般的でした。これは、農村社会の経済的・社会的な構造とも関連しています。**

**その他の関連用語と比較**

**調査の過程で、他の関連する用語も確認しました。例えば：**

* **「女中」（Jochu）： 主に女性の奉公人を指し、武家や商家の内職（炊事、掃除、主人夫妻の世話など）を担当しました。ただし、あなたの「馬引き」という男性中心の役割とは異なります。**
* **「丁稚」（Dekkachi）： 商家や職人のもとで働く年季奉公の少年を指し、武家ではなく商人の世界での用語です。**
* **「えた」「ひにん」： 被差別身分を指し、死体処理や皮革業など特定の職業に限定されるため、今回の文脈には当てはまりません。**

**これらの用語を比較すると、「武家奉公人」があなたの質問に最も適切であることが明らかです。**

**歴史的資料からの引用と裏付け**

**以下の資料から情報を得ました：**

* [**Wikipedia: 武家奉公人**](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A6%E5%AE%B6%E5%A5%89%E5%85%AC%E4%BA%BA)**では、「武家奉公人」が非武士身分による奉公人を指し、江戸時代では「中間」や「小者」と呼ばれることが多いと記載されています。**
* [**Wikipedia: 女中**](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A5%B3%E4%B8%AD)**では、女性の奉公人の役割が説明されており、武家での「女中」の位置付けが確認できますが、男性の役割には触れていません。**
* [**President Online: 江戸時代に生涯未婚者が多い"悲しい事情"**](https://president.jp/articles/-/27679?page=1)**では、商家の「丁稚」について触れていますが、これは武家とは異なる文脈です。**

**これらの資料から、「武家奉公人」があなたの質問に最も適合する用語であると結論付けられます。**

**表：主要な用語と役割の比較**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **用語** | **身分** | **主な役割** | **期間** | **備考** |
| **武家奉公人** | **非武士** | **荷物持ち、馬の手入れ、食事準備等** | **戦国～江戸** | **農民や町人出身、住み込みで勤務** |
| **中間** | **非武士** | **雑務全般、特に力仕事** | **江戸** | **「武家奉公人」の一種** |
| **小者** | **非武士** | **補助的な雑務** | **江戸** | **「武家奉公人」の一種** |
| **女中** | **非武士** | **炊事、掃除、主人の世話等** | **江戸** | **女性限定、武家や商家で勤務** |
| **丁稚** | **非武士** | **雑用、商人としての教育** | **江戸** | **商家での年季奉公、武家とは別** |

**不確実性と地域差**

**歴史的な身分制度は地域や藩によって異なる場合があり、厳密な定義は難しい場合があります。例えば、加賀藩（前田氏）では特定の呼び方や役割があったかもしれませんが、一般的には「武家奉公人」が広く用いられる用語です。研究ではこれが標準的とされていますが、あなたの家系の具体的な状況については、さらに戸籍や地域の歴史資料を調査することで、より詳細が明らかになる可能性があります。**

**結論**

**総合的に判断すると、戦国時代から江戸時代にかけて、大名家などに住み込みで仕える身分の低い者は\*\*「武家奉公人」\*\*と呼ばれ、特に江戸時代では「中間」や「小者」と呼ばれることが多かったです。あなたの「馬引き」の役割と農家出身という背景は、この分類に完全に一致します。**

**主要引用**

* [**Wikipedia: 武家奉公人 詳細な歴史的説明**](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A6%E5%AE%B6%E5%A5%89%E5%85%AC%E4%BA%BA)
* [**Wikipedia: 女中 女性奉公人の役割**](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A5%B3%E4%B8%AD)
* [**President Online: 江戸時代に生涯未婚者が多い"悲しい事情" 商家の奉公人**](https://president.jp/articles/-/27679?page=1)